

三郷市立南中学校

(家読ゆうびんの取組と廊下掲示)



実践事例の説明

- ・1年生の国語の授業で本のポップについて紹介をしてから、自分のおすすめの本を準備させて、家族の誰かへその本をおすすめする「家読ゆうびん」の作成に取り組ませた。
- ・また、他学年や委員会でも「家読ゆうびん」の紹介をし、希望生徒に取り組ませた。
- ・優秀作品は家読ゆうびんコンクールに応募し、応募しなかったものもラシヤ紙へまとめ、廊下に掲示した。

三郷市立北中学校

(家読コーナーの設置)



実践事例の説明

- ・学校図書館に家読コーナーを設置している。
- ・中学生向けの本に限らず、絵本やドラマの原作本など、幅広い年齢層の人たちが楽しめるような本を揃えている。
- ・話題になっている本など、時期によって入替をしている。

(家読ゆうびんの取組)



実践事例の説明

- ・読んだ本の感動を伝えるために、「家読ゆうびん」作成の取組を行った。生徒は、家族に宛てておすすめの本のはがきを書き、各家庭にはコンクールの要項を配布した。
- ・親子や兄弟で取り組む家庭もあり、家読のすすめとなった。
- ・「家読ゆうびん」を掲示している。

三郷市立栄中学校 (読書ゆうびんの取り組み)



実践事例の説明

- ・国語の時間を活用し、家族宛てに、「読書ゆうびん」を作成した。また返事を書いてもらうことで、家庭との連携、家族との交流が深まった。
- ・作品は、図書館に掲示することで、本の紹介とともに、読書ゆうびんの良さを知る場とした。
- ・司書から家読でのおすすめ本を紹介するコーナーを設置。映画の原作本など身近で、家庭でも話題になるようなものを取り上げている。

三郷市立彦成中学校 (家読コーナーの設置)



おすすめの本 家読にいかが？

「エヌ博士の遊園地」 星新一 新潮文庫
 エヌ博士の研究室をおそった強盗。金のもうかる薬を盗んだのはよかったけれど…。休暇を過ごすエヌ氏のもとに、突然かかった電話、いったい誰から？不思議な世界にあなたを招待するショート・ショート。「三郷市おすすめの本」にも選ばれている、家族で楽しめる一冊です。



実践事例の説明

学校図書館の中に、家読を勧めるコーナーを設置している。今、話題になっている本、ドラマや映画になっている本など、家族で一緒に読める本を展示している。学校司書によるポップも付け、生徒が手に取りやすいように工夫している。

また、図書だよりも家読コーナーを設置している。毎月、家読におすすめの本を紹介し、家族で読書を楽しく取り組んでもらえるようにはたらきかけを行っている。

三郷市立彦系中学校

(家読コーナーの設置)



(家読啓発だよりの発行)

「家読」ってなに?
「家読」とは、「家族読書」の略称で、「家族ふれあい読書」を意味します。
「家読」では、毎朝、「朝読」(朝の読書の略)を行っています。朝の10分間、静かに本に向かうことで、集中する力が身につけていくようです。

「家読」のやり方
「家読」のやり方、決まりはありません。家族で本を読みあそびたいのだから、家族の数がだけ、読み方、楽しみ方が異なるはず。まずは、「我が家のルール」を決めよう。

「家読」のメリット
・回数、月1回でも、週1回でもOK!
・基本の時間をおよぼしてOK!
*「家読」の際は、ゲーム、テレビを!

「家読」におすすめの本
『父が息子に伝える17の大切なこと』
『うまれかた』
『ありがとう』

実践事例の説明

- ・学校図書館内に、家読コーナーを設置している。親子で一緒に読める本や親子ですすめあえる本などを図書館司書が選定し、展示している。
- ・部活や塾等で本を読む時間が削られたり、親子の会話が少なくなったりすることの多い中学生に、家読で家庭でのコミュニケーションが図れるように、魅力的な展示を計画していきたい。

実践事例の説明

- ・図書館司書の協力をいただき、家読の啓発だよりを作成した。家読を推進するにあたり、「家読」とは何か、どのように取り組めばよいのか、家読におすすめの本などを紹介している。生徒だけでなく、保護者の方にも家読を知ってもらい、読書を通してさらにコミュニケーションが図れるようにしていきたい。

三郷市立前川中学校

(読書ゆうびんの取組)



コンビニそば読書
村山早紀
私がおすすめの本は「コンビニそば読書」です。そのコンビニには、この世には売ってないはずのものまで、何でもそろっていると、いいます。大事な探したものが「ある人は必ず」ここで見つけられると、言っています。

この本は、読んでほしいものがあたらしく、読み終わってからも、ぜひ「あの人にはこの本がある」と考えさせられます。私は行きたかったです。ぜひ読んでほしい本を、ぜひ読んでみて下さい。

実践事例の説明

- ・読書のまち三郷 推進資料「言葉の力」や他の本から、家族宛てに、「読書ゆうびん」を作成する。
- ・1年生では、国語の時間を活用し、学年全生徒で取り組む。
- ・返事のゆうびんは、宿題とし、学校での取組を知ってもらうとともに、家庭との連携を図り、家読の取組を進める。
- ・作品は、掲示や、「図書館だより」への掲載など積極的に紹介する。これにより、読書活動への誘いの一つとする。
- ・保護者のお薦めする本も積極的に紹介していく。
- ・学校図書館が家読の基点の一つとなるよう、保護者が読みたくなる本を学校図書館にそろえる。

三郷市立早稲田中学校 (家読郵便の取り組みと掲示)

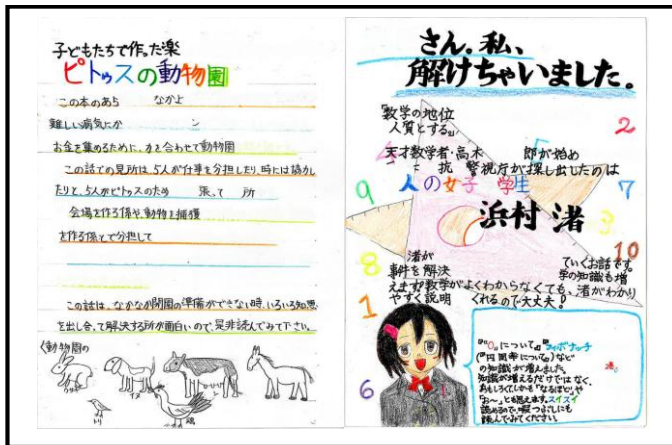


実践事例の説明

- ・教室や廊下に読書コーナーを設け、読書に親しみやすい環境作りをしているので、朝読書や昼休みの図書館でも積極的に読書に取り組んでいる生徒が多い。
- ・国語の授業で全学年、家読郵便に取り組ませた。保護者からの返信を夏休みの課題とした。保護者会等でも、呼びかけたため、ほとんどの保護者が返信に協力してくれた。
- ・良い作品を、学年の掲示板等に掲示し、さらに、家読への関心を高めたい。

三郷市立瑞穂中学校

(読書ゆうびんの取り組み)



(家読コーナーの設置)



実践事例の説明

- ・「言葉の力」や朝読書で読んでいる本などの中から、家族への「読書ゆうびん」を作成する。
- ・作品は、掲示や読書だより等で紹介する。
- ・家族へ手渡すことをきっかけに、家読の取り組みをすすめる。
- ・返信をもとに、保護者のお薦め本を紹介する。

実践事例の説明

- ・時節に合わせた家読展示コーナーを設けている。家族、戦争と平和、冒険などをテーマに図書館司書が選書し展示している。
- ・新刊本や授業内容と関連するものも提示することで、読書の幅を広げ、家庭での話題につながるよう展示の工夫をしていきたい。